5．徴収不能引当金及び貸倒引当金の計上基準
　債権の貸倒れによる損失に備えるため、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。
6．有価証券の評価基準及び評価方法
　満期保有目的債券　償却原価法（定額法）
7．たな卸資産の評価基準及び評価方法
　貯蔵品　最終仕入原価法
8．国立大学法人等業務実施コスト計算書における機会費用の計上方法
⑴　国等の財産の無償又は減額された使用料による賃借取引の機会費用の計算方法
　近隣の地代や賃借料を参考に計算しています。
⑵　政府出資等の機会費用の計算に使用した利率
　平成24年３月30日付け新発10年国債の利率0.985％を使用しています。
9．リース取引の会計処理
　リース料総額が3,000,000円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
10．消費税等の会計処理
　消費税及び地方消費税の会計処理方法は、税込方式によります。

（会計方針の変更）
なし

（貸借対照表の注記）
運営費交付金から充当されるべき賞与見積額及び退職給付費用見積額

| | |
|---|---|
| 賞与見積額 | 282,363,473円 |
| 退職給付費用見積額 | 4,107,901,312円 |

（キャッシュ・フロー計算書の注記）
⑴　資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

| | |
|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 2,216,272,576円 |
| 資金 | 2,216,272,576円 |

⑵　重要な非資金取引
１）寄附受による資産等の取得

| | |
|---|---|
| 工具器具備品 | 83,943,026円 |
| 図書 | 2,902,429円 |
| 美術品・収蔵品 | 441,428円 |
| 少額備品等 | 24,526,044円 |
| 計 | 111,812,927円 |

２）交換に伴う㈱日本ボート協会からの土地の取得

| | |
|---|---|
| 計 | 9,500,000円 |

（減損に関する事項）
減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）に関する事項
①　藤が岡宿舎（ＲＡ棟）
⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
　用途（職員宿舎）、種類（建物、及び建物附属設備）、場所（神奈川県藤沢市）、帳簿価額（11,243,302円（建物11,159,096円、建物附属設備84,206円））
⑵　認められた減損の兆候の概要
　固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性を著しく低下させる変化が生じました。
⑶　現に使用しており、今後においても使用が想定されているため、減損の認識は行いませんでした。
②　藤が岡宿舎（ＲＢ棟）
⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
　用途（職員宿舎）、種類（建物、及び建物附属設備）、場所（神奈川県藤沢市）、帳簿価額（16,683,855円（建物16,683,851円、建物附属設備４円））
⑵　認められた減損の兆候の概要
　固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性を著しく低下させる変化が生じました。
⑶　現に使用しており、今後においても使用が想定されているため、減損の認識は行いませんでした。
③　構築物（藤が岡宿舎）
⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
　用途（教育研究用）、種類（構築物）、場所（神奈川県藤沢市）、帳簿価額（8,592,718円）
⑵　認められた減損の兆候の概要
　固定資産が使用されている範囲について、当該資産の使用可能性を著しく低下させる変化が生じました。
⑶　現に使用しており、今後においても使用が想定されているため、減損の認識は行いませんでした。
④　電話加入権
⑴　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要
　用途（電話加入権）、種類（電話加入権）、場所（東京都港区他）、帳簿価額（13,000円×39回線＝507,000円）
⑵　認められた減損の兆候の概要
　固定資産の市場価格（相続税評価額）が著しく下落しました。
⑶　市場価格（相続税評価額）は帳簿価額から50％以上下落していますが、使用価値相当額が帳簿価額を上回るため、減損の認識は行いませんでした。

（重要な債務負担行為）
当事業年度に契約を締結し、翌期以降に支払が発生する重要なものは以下のとおりです。
（単位：円）

| 契約内容 | 主な契約先 | 翌期以降の支払金額 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 一年以内 | 一年超 | 合計 |
| 東京海洋大学（品川）総合研究棟（３号館）改修工事 | 池田建設株式会社 | 133,350,000 | — | 133,350,000 |
| 東京海洋大学（品川）総合研究棟（３号館）改修機械設備工事 | 東洋機動株式会社 | 75,600,000 | — | 75,600,000 |
| 東京海洋大学（品川）総合研究棟（３号館）改修エレベーター取設工事 | エス・イー・シーエレベーター株式会社 | 13,650,000 | — | 13,650,000 |
| 超電導磁石修理　一式 | ジャパン　スーパーコンダクタ　テクノロジー株式会社 | 14,878,500 | — | 14,878,500 |
| 合計 | | 237,478,500 | — | 237,478,500 |